

衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 平成23年9月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 平成23年10月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、平成23年9月のアクセス件数、アクセス順位及び平成23年10月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については総務局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (平成23年9月)

平成23年9月の総アクセス数は、216,329件でした。主な内訳は、感染症70.9%、食品衛生8.6%、保健情報6.8%、検査情報月報4.6%、生活環境衛生2.0%、薬事0.8%でした。

(2) アクセス順位 (平成23年9月)

9月のアクセス順位(表1)は、第1位が「マイコプラズマ肺炎について」、第2位が「手足口病について」、第3位が「衛生研究所トップページ」でした。

第1位は、「マイコプラズマ肺炎について」でした。

マイコプラズマ肺炎は、年間を通じて常にアクセス件数が多く、毎月上位にランクインしています。国立感染症情報センターの報告によりますと、マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、第25週(6月20～26日)以降は過去5年間の同時期と比較して最も多い報告が続いており、第39週(9月26日～10月2日)は 0.97と、高い水準で推移しています。

第2位は、「手足口病について」でした。手足口病(hand,foot,and mouth disease:HFMD)は、口腔粘膜及び手や足等に現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患です。国立感染症情報センターの報告によりますと、手足口病の定点当たり報告数は、第36週(9月5日～11日)以降減少が続いており、終息に向かっていますが、第39週(9月26日～10月2日)は 2.57と、過去5年間の同時期と比較してかなり多い報告が続いています。

第3位は、衛生研究所トップページでした。

第4位は、「ポリオ(小児麻痺・急性灰白髄炎)について」でした。本市では、ポリオの予防接種(定期接

表1 平成23年9月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	マイコプラズマ肺炎について	49,440
2	手足口病について	7,443
3	衛生研究所トップページ	4,722
4	ポリオ(小児麻痺・急性灰白髄炎)について	4,096
5	RSウイルスによる気道感染症およびパルピズマブ(シナジス)について	3,265
6	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	2,644
7	サイトメガロウイルス感染症について	2,213
8	クロストリジウム・ディフィシル感染症	2,112
9	感染症情報センター	2,051
10	サルモネラ感染症(食中毒)について	1,723

データ提供:総務局IT活用推進課

種)を1年に2回、春と秋(4月と10月)に行政区の福祉保健センターで実施しています。10月の定期接種の前であること、また9月7日付けの一部の新聞で不活化ポリオワクチンについて報道がなされたことが、アクセス件数の増加の一因ではないかと思われます。

現在、厚生労働省で不活化ポリオワクチンの導入に向けた取り組みが進められていますが、国内での導入は、早くても2012(平成24)年度の終わり頃の予定とのことです。不活化ワクチンが導入されるまで、ワクチンを接種せずに様子を見る人が増えると、免疫を持たない人が増え、国内でポリオの流行が起こってしまう危険性があります。ポリオワクチンを接種することが、ポリオを予防する唯一の方法です。

厚生労働省のポリオワクチンのホームページ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/polio/index.html>

保護者向けのリーフレット http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/polio/dl/polio_vaccine.pdf

第5位は、「RSウイルスによる気道感染症およびパリビズマブ(シナジス)」でした。RSウイルス感染症(respiratory syncytial virus infection)は、病原体であるRSウイルスが感染者の鼻汁、喀痰などから接触感染あるいは飛沫感染により伝播する呼吸器感染症です。年齢を問わず生涯にわたり顕性感染を繰り返し、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスの初感染を受けるとされていますが、終生免疫は獲得されません。特に生後数週間～数か月間の時期に母体からの移行免疫が存在するにもかかわらず、下気道の炎症を中心とした重篤な症状を引き起こします。国立感染症情報センターの報告によりますと、2004年以降の同時期の報告数としては、最も多い状態が第16週(4月18日～24日)以降継続しています。

(3) 電子メールによる問い合わせ (平成23年10月)

平成23年10月の問い合わせは、5件でした(表2)。

表2 平成23年10月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
猫の死体処理について	1	感染症・疫学情報課
IgG抗体価の判定基準について	1	感染症・疫学情報課
抗体検査の受診について	1	感染症・疫学情報課
ポリオ生ワクチンについて	1	感染症・疫学情報課
保育園のアタマシラミについて	1	感染症・疫学情報課

2 追加・更新記事 (平成23年10月)

平成23年10月に追加・更新した主な記事は、3件でした(表3)。

表3 平成23年10月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
10月 6日	感染症に気をつけよう(10月号)	追加
10月 7日	熱中症情報	更新
10月11日	英字略語集	更新